

## VIDEONER-BIZNET NEWS

ビデオナービズネット(日本映像製作者協会)とは個人規模で映像関係を業務としている事業者及びそのことに関わっている者の組織です。

公式WEB <http://www.videoner-biznet.net> 8月定例会のご案内

## 「ホール撮影実地勉強会」

小田原市民会館大ホールにて、撮影実地勉強会を行います。ホールでの撮影技術向上のための絶好の機会といえます。みなさま奮ってご参加ください。

当日はカメラ・音響機材などの設置から始めます。リハーサルがはじまりましたら、小時間撮影を行い、収録した映像のチェックを行う予定です。

勉強会日程および会場

日時 2018年8月25日(土) 13時~19時

場所 小田原市市民会館大ホール  
〒250-0012 小田原市本町1-5-12  
JR・小田急小田原より徒歩12分

タイムスケジュール

- 13:00 小田原駅東口1階出口付近集合。  
徒歩(12分・700m)またはバスで市民会館まで移動。
- 13:20 市民会館着。  
主催者・ホールへ挨拶後、仕込み開始。
- 16:00 ゆったり仕込み完了。  
(リハーサルは行われています)  
リハーサルチェック開始。
- 19:00 終了予定。  
(リハーサルは続いています)

以後、会館退出したあと夕食を兼ねての二次会になります。

※お車でお越しの方は、直接市民会館に向かい、近隣のコインパーキングに駐車してください。

(国道1号線平塚方面からの場合、「小田原市民会館前」交差点を右折後、すぐに細い道を左折します。左手に小田原市民会館入り口が見えまして、20m先右側にコインパーキングがあります。)

 7月定例会のご報告

## 「杉崎さんによるオーディオ講座」

杉崎さんの資料の題名に「ビデオカメラマンの為のオーディオ講座」とあり、副題には『失敗しない録音の処方箋』とありました。プロにとっては、この『失敗しない』ということが、最重要課題であると杉崎さんは述べられていました。

講義の内容は「失敗しない為のポイント」と「機材の使い方」に重点をおいたものになり、会員からはひっきりなしに質問が飛び交いました。杉崎さんはそれぞれにひとつひとつ丁寧に答えて、大幅な時間延長で大変盛況な講座となりました。

 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」  
吉岡さん「よっしーのお手伝い日記」  
が続きます!

## 西湖のビデオ屋稼業

2018.8月 高橋 昌一

台風の影響残る日曜日、ずっと気にかかっていた幾つかの網戸の貼り替えを行った。ピンと貼れると気分もスッキリ。内装業（クロス貼り）も職業としてかじったことがあり、細かな手作業は得意なほうだと思う。振り返れば今まで様々な業種を経験してきた。今、思うのは、その道に「自ら決めて飛び込む」と、そうでなく「ただ飛び込む」とでは、開けていく道はまったく違うようだった。当然自ら決意して飛び込む方が何倍も、広くてしっかりとした道に着地できた。もちろん、その当時そんなことには全く気が付きもしないが。

さて7/23～24でお泊り保育の撮影を行った。その時の様子をざっと。

その幼稚園さんのお泊り保育は、自分のかかえている全ての撮影の中でも、毎年、肉体的には断トツの疲労感を持ち帰ってくる現場だ。今年は例年のない暑さも加わり、準備も何かとナーバスになってくる。今回はあらためて持参品の精査を行ってみて、かなりの荷物減になったのは大きかった。主な持参品はカメラではNX30J、NX70J、とCX680の民生機を含むオール小型機。小型三脚2台。バッテリー多数にカメラライト。

飲料は500mlのペットボトル2本とドリンクゼリー5ケ。どちらも数日前から凍らせておいた（水分は、撮影現場での自販機有無など事前に確認して持参）。他、昼食、着替え等身の回り品。今回はそれらを小型ザック、ウェストポーチ、手持ちアルミケースに分散し、いつもより身軽になって持参。移動も気分も随分と楽になった。

撮影はほとんどが手持ちだが、小型三脚（VT551）を用意して、いつでも使えるようにはしていた。

一日目。

9:15 幼稚園入り。長い一日が始まる。まずは点描撮影を行う（外観・空模様・花木・遊具等々）。次に登園園児の様子、各教室の様子を撮影。園庭で朝礼後、一列になって園バスに向かうので、ここでは全員を押さえる。このように間違いなく全員を撮れるシーンはほとんど押さえるようにしている。逆に言えば「全員をもれなく撮れる」チャンスシーンは見逃せない。

園バスに同乗出発。今年は園バスが2台なので、行き帰り別々のバスに乗って、やはり車内全員押さえる。

ここの幼稚園さんのお泊り保育の特徴は「物語風」に遂行されること。

「火の神様のようなキャラクター」が手紙を順次あちこちに忍ばせておき、それを園児が発見し、書かれている内容に沿って行動する。それが二日目の降園間際まで続く。だから「手紙を発見するシーン」「手紙を読むシーン」は重要で、そのカットが無いと映像全体のつながり感が悪くなってしまう。

出発後30分ほどで川遊びのできるキャンプ場着。

着いてすぐの集合写真撮影時に、写真屋さんに「お断り」を入れ、横で便乗撮影。この横手での撮影では、「被写体の視線が盗られる」ということで嫌う写真屋さんもいるので必ず確認するようにしている。

いよいよ昼食開始。広い公園等では、各クラス車座になって食べるので撮影も行いやすい

が、狭くてほぼびっしりと隣り合っている場合は、目で仮想ラインを引き、順次分けしなからの撮影となるので気は抜けない。今回の撮影は後者にて。日差しを避けて木陰に園児80人がひしめく。食事を終えて動き回る園児も出てくるので、必然気合は入る。

昼食後、生い茂る木々に囲まれた小川で水遊び。今年は猛暑雨不足で水の流れも少なく感じるが、園児にとっては一番の歓声時。やがて水の掛け合いも始まる。もちろん全員もれなくの撮影は確証できないので、全体を移動しながら、サイズを変えながら、時には水面近くまで落としながら、と撮影。陽が差し込み、順光あり、逆光ありで、画面には予想以上の大自然が現れる。

すいか割が各クラス同時に始まる。今年は3クラス。同時ゆえ、小型三脚2台+クランプヘッドのカメラ三台で、もれなく固定撮影。CX680は数万円の民生機だが、業務機を扱っていると、それなりのクオリティも探り出せるよう。これは時折「お助けカメラ」としても重宝している。応援で声を張り上げている園児はスマホでチョイ撮り。

帰園後の夕食。ここでは各教室にて食べるので、走り回って順次撮影。ちなみに翌日の朝食では、夕食時の順番とは逆順で撮影する。なお夕食と朝食とではアングルを変えて撮影をするようにはしている。

20:00 園児お待ちかねのキャンプファイヤー。ようやく、くだんの「火の神様」がお姿を現す。焚き木に火をつけ、歌い、ダンスをし、花火を行い、ほぼ一時間全員で盛り上がり続けるので撮影は忙しい。ここでは小型ライトをカメラに装着し、必要に応じて点灯。また全景用のカメラを別に固定設置。暗い中、シャッター1/30で少しでも明るさを稼ぐ。燃え上がる炎を中心に取り囲む園児の大輪の影は美しい。パラパラ感もない。

キャンプファイヤーを終え、パジャマに着替えたあと、クラス単位で就寝前の集合ビデオ撮影。クラス名の他は、コメントもポーズも自由にしてもらおう。その方がゆったり感が出てくる。就寝後の寝顔撮影では動き回られる心配がないのはありがたい。もちろん暗がりゆえ注意は欠かせない。撮影中に寝返りをされた場合でも録画は止めずにカメラの向きを変えて初めから撮り直す。一人一回のレックで撮り終わるようにすると、万一その場で人数確認する事態になった場合でも、確認が容易だ。

中々寝付けない園児もいて、全員を取り終えて幼稚園を出たのは23:40だった。

二日目。

5:30 幼稚園入り。まだ「物語風」は続いているので気は抜けない。早朝の点描、そして起床、洗面、布団片付け、体操、朝食等々一連を撮影。その後、園児と一緒に園舎内を駆けずり回るプレゼント探しゲームを終えて、物語は無事に終了。朝から動き回ってきたビデオカメラもここでようやく落ち着いてくる。

10:00 園庭での帰りの会后、保護者への園児引き渡し。親の顔を見つけて泣き出す子、はしゃぐ子、それら数カットを担当先生もからめて押さえる。

11:00 先生方へ挨拶をすませて帰路につく。シャワーと爆睡が待っている。

自分の場合いつも、一番最後に退出する親子をエンディングカットにしている。引き渡しが始まって一時間はかかるが、その時間が自分自身のクールダウンにもなるし、なにより親子の後ろ姿が風物詩的でいい。

## よっしーのお手伝い日記 (4)

アソシネット株式会社 吉岡

### 赤岡ビデオ企画、小学校卒業式

卒業式は日程が重なる。赤岡さんが撮る卒業式は、当日 4 か所になる。赤岡さん、上河さん、私と、もう 1 か所は、学校側が撮ったものを編集するらしい。

私の担当する小学校は、今回で 3 回目になる。

初回は、赤岡さん宅で過去の DVD を見ながら、簡単な絵とメモを描いて臨んだ。次の年も、そのメモがそのまま使えた。歌もメッセージも全て同じ内容だった。歌の長さも記入してあるので、パンをする時に、中途半端になることはほとんどない。

今年もたぶん同じだろう。

#### 2018 年 3 月 21 日 東京都中央区 (準備)

特に言われたわけではないが、私も準備をさせてほしいと、自らお願いし、赤岡さんと一緒に小学校へ入る。

先述ように、このメモがあれば、ほぼ間違いなく撮影はできる。しかし、より確実にするために、最終確認のつもりで現場を見に行くことにした。

式が始まってしまえば、その場所に慣れている先生や生徒達が、段取り通り行動する。私だけがもたもたするわけにはいかない。体育館の場所、卒業生の教室の場所、外へ出る場所などをチェックする。

当日は卒業式の後、グラウンドで在校生がアーチを作り、卒業生のお見送りをする。明日は雨が降りそうなので、雨の時の行動も先生に聞いておく。

赤岡さんの仕事では、すべて赤岡さんのカメラを使う。今回の撮影では 4 台を設置。小型カメラが多いが、それでも赤岡さんは 10 台以上持っている。

撮影の段取りを話す。小学校を出て、軽く食事を取る。

#### 2018 年 3 月 22 日 東京都中央区 (卒業式)

8:00 小学校到着。

卒業式はスーツで行くが、スーツか普段着か、迷ったときにはスーツを着ることにしている。なので、この頃の撮影はスーツが多い。業者っぽくないので、ビデオ仲間からは揶揄されたりするが、晴れの舞台に失礼にはあたらないだろう、と思うことにしている。

とりあえず雨はなさそうだ。校舎、教室、会場の点描カットを撮る。

この卒業式は、私の撮影の中では唯一の、一人だけの現場だ。とにかく漏れがないように、こまめにメモ

をチェックする。やることがすべて書いてある。

式が始まると、正面のカメラと上手(かみて)のカメラ(距離 20m 程度)を移動しながら撮影する。カメラから離れる時は写す場所を定位置にしておく。けっこう忙(せわ)しいが、画角が甘くならないように注意を払う。

卒業式は、とりあえず無事に終了したと思う。次は、卒業生の教室の様子を写す。その後、グラウンドへ行って、お見送りを撮る。

児童の中でカメラを構えていると「テレビ？撮ってよ。イエーイ！」と、毎年言われる。カメラを向けると、けっこう喜ぶ。子供は単純で面白い。

13:30、タクシーで赤岡さん宅へ。

上河さんと合流。上河さんもスーツを着ている。3人で食事をして、別れる。

以上